

患者さんが安心・納得する

医療ホワイトニング 説明BOOK

好評につき
第2版!

—こう聞かれたら、こう答える—

編著

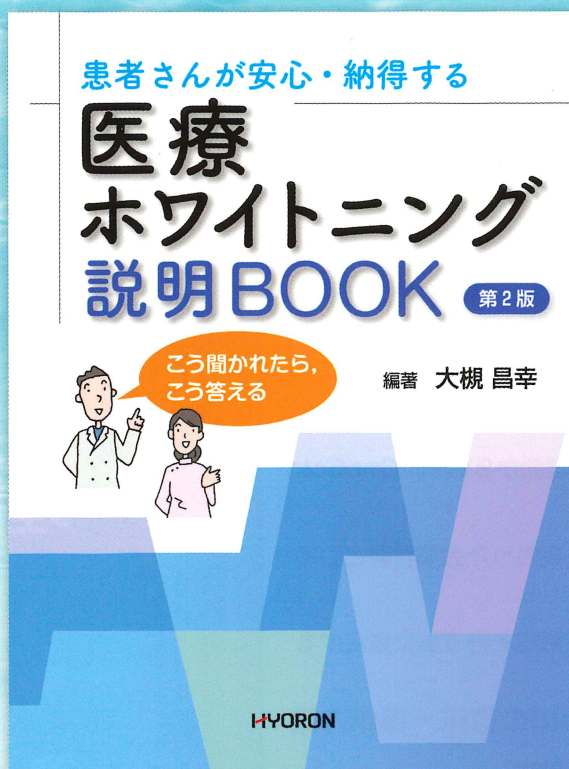
大槻昌幸

(東京科学大学大学院歯制御学分野 非常勤講師／
松本歯科大学歯科保存学講座(修復) 客員教授)

新しい
材料などの
最新情報を追加して
アップデートした
第2版!

冷たい水が
しみるように
になりました…

どれくらいの
期間で、どの程度
白くなりますか?



ホワイトニングによる
歯の白さを保つには
どうすればいいですか?

すぐに後戻りして
しまったのですが…



- 歯科医師の診断のもとで施術する“医療ホワイトニング”は、歯質保存的で費用対効果の高い審美歯科治療として普及・進化していますが、術者やスタッフの説明不足により安全性や治療効果などに疑問や不安を持っている患者さんも少なくありません。
- 本書では、ホワイトニングの「治療前」「治療中」「治療後」に患者さんからよく尋ねられる質問・疑問に対する回答とそのエビデンス、臨床ポイントなどを、エキスパートが丁寧に解説しています。
- 患者さんが安心・納得し、満足度の高い医療ホワイトニングを実践するために、ぜひお役立てください。

A4変判・108頁・オールカラー・定価7,700円(税込)

株式会社 **ヒョーロン**・パブリッシャーズ

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町531-5 OKADOビル
Tel.03-6709-6771 Fax.03-6709-6774
<https://www.hyoron.co.jp>

根分岐部病変との戦いに勝つための実践的治療戦略をここに！

根分岐部病変の 治療戦略

近日発刊！

—エビデンスに基づく診断と治療の実践—

監修 沼部幸博（日本歯科大学 生命歯学部 歯周病学講座 主任教授）

編著 倉治竜太郎（日本歯科大学 生命歯学部 歯周病学講座 講師）

著 佐野哲也（東京都八王子市／はあとふる歯科医院）

景山正登（東京都中野区／景山歯科医院）

- 歯周疾患の中でも根分岐部病変は、病変を囲む歯根と骨壁が術者の視界を遮り、器具操作を妨げ、さらにプラークコントロールも困難なため、今現在も多くの臨床家がその対応に悩まされています。
- 本書は、このような臨床対応が難しい根分岐部病変に対し、基礎知識から検査、診断、治療計画、治療の種類・術式、そして術後管理までをエビデンスに基づいて見直し、さまざまなシチュエーションにおける臨床例を可能な限り多く提示することで、エビデンスと臨床応用が調和した治療戦略をわかりやすく解説するものです。
- 重症度別、部位別に治療の流れを可視化した「治療フローチャート」も多く掲載しており、若い先生からベテランの先生までにお勧めできる一書です。



A4変判・280頁・オールカラー・定価19,800円（税込）

株式会社 **ヒョーロン**・パブリッシャーズ

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町531-5 OKADOビル
Tel.03-6709-6771 Fax.03-6709-6774
<https://www.hyoron.co.jp>

根分岐部病変の治療戦略

—エビデンスに基づく診断と治療の実践—

内 容 紹 介

第1部 (総論) 根分岐部病変のリスクファクターと検査・診断、疫学、治療の考え方

I. 複根歯の解剖学的特徴と形態異常—根分岐部病変のリスクファクター

基本的特徴／根分岐部病変のリスクファクターとなる解剖学的要因

II. 根分岐部病変の検査と臨床診断

根分岐部病変による付着喪失とは／根分岐部病変の検査と診断の重要性／プロービングによる検査／二次元X線画像を用いた検査／歯科用コーンビームコンピュータ断層撮影 (CBCT) を用いた検査／根分岐部病変を検査・診断するためのアルゴリズムと根分岐部病変チャート

III. 根分岐部病変の疫学：有病率、歯の喪失に対するリスク

根分岐部病変の有病率／歯周病のリスクファクターとしての根分岐部病変／未治療の根分岐部病変を有する歯の喪失リスク／歯周治療を受けた根分岐部病変を有する歯の喪失リスク／重症度別にみた根分岐部病変の歯の喪失リスク／疫学研究からわかったことのまとめ：根分岐部病変から歯を守るには？

IV. 根分岐部病変の治療の基本的考え方

歯周治療における根分岐部病変の性質／根分岐部病変に対する非外科的歯周治療の効果／スケーラーのデザインからみる非外科的歯周治療の限界／根分岐部病変に対するフラップ手術の効果／根分岐部病変の治療戦略：切除療法か歯周組織再生療法か？

第2部 歯根切除療法・トンネリング

V. 切除的アプローチと補綴装置のデザイン

歯根切除療法の種類と用語／歯根切除療法にまつわる用語の取り扱い／歯根分離と歯根切除の適応／歯根分離と歯根切除の禁忌／歯根分離と歯根切除の術式／歯根切除療法の予後：疫学研究からの考察／歯根切除療法を応用した症例の長期予後

VI. トンネリングと根面カリエスマネージメント

トンネリングの適応／トンネリングの患者選択／トンネリングの術式／術後経過観察と分岐部の清掃／トンネリング歯の予後とSPTの重要性／トンネリング後の根面カリエスとマネージメント

第3部 歯周組織再生療法

VII. 組織再生誘導法 (GTR法) —歯周組織再生療法の幕開けと発展の歴史

歯周組織の再生とは／歯周組織の再生能力を有する細胞はどこにいるか／GTR法の登場から根分岐部病変への適用まで／根分岐部病変におけるGTR法の臨床的意／根分岐部病変におけるGTR法と骨移植との併用療法／根分岐部病変におけるGTR法の長期予後／根分岐部病変におけるGTR法の術後有害事象

VIII. 生物活性再生材料を応用した歯周組織再生療法—現代の再生コンセプトと外科的アプローチ

生物活性再生材料とは／エナメルマトリックステリパティプの応用／塩基性線維芽細胞増殖因子 (FGF-2) 製剤の応用／生物活性再生材料と骨移植材との併用療法／根分岐部病変の歯周組織再生療法に影響を及ぼす要素／根分岐部病変の歯周組織再生療法におけるフラップデザイン／根分岐部病変の歯周組織再生療法：ステップごとの術式手順

第4部 根分岐部病変の臨床対応

IX. クエッションナブルな根分岐部病変—歯の保存か抜歯してインプラントか

生存率からみるインプラント治療への期待／インプラント治療を想定した戦略的抜歯／歯周炎患者へのインプラント治療の成功率は健常者と同じか？／歯周炎患者へのインプラント治療は禁忌症か？／根分岐部病変の抜歯と治療方針を決定する要因／歯周組織再生療法非適応と診断されたⅡ度根分岐部病変を有する大臼歯を保存した症例の長期経過

X. 国内外の臨床ガイドラインにみる根分岐部病変の治療指針

診療ガイドライン／診療ガイドラインに基づく根分岐部病変の治療指針／JSP・EFP・AAPからの推奨にみる根分岐部病変治療の潮流

XI. 治療フローチャート

根分岐部病変の治療戦略：第1部～第4部の総括／根分岐部病変の治療フローチャート

XII. 症例供覧

付章 歯根切除療法、トンネリング、歯周組織再生療法を適用するための治療フローチャート